## findコマンドの-pruneオプション

manページでは「true を返します。 処理対象がディレクトリである場合、 ディレクトリ内に入ってい きません。」という説明で、いったいどういう効果なのかわかりにくい-pruneオプションについてのメ Ŧ.

## 「説明」の指定された式 (expression)

manページの説明にある「指定された式(expression)を左**から**右の順で評価していきます。」が重要な ポイントで、これでオプションによる結果が決まることになる。

## findコマンドのexpression

findコマンドで/var以下からディレクトリを検索するが□logディレクトリより下を除外する場合は下記 のように指定する。

\$ find /var -type d -name log -prune -o -print

これはこのように実行されることになる。

command	path	expression-1	operator	expression-2
find	/var	-type d -name log -prune	-0	-print

- 1. pathを起点に検索を開始する。
- 2. expression-1に合致した場合
  - 1. -pruneオプションの結果としてtrueが返されるがパスは出力されない
  - 2. operator以降の式の評価は行われない
- 3. expression-1に合致しなかった場合
  - 1. expression-2に従いパスが出力される

これらの組み合わせにより「xxディレクトリより下を除外」がされることになる。

Last update: 2023/09/09 02:09

